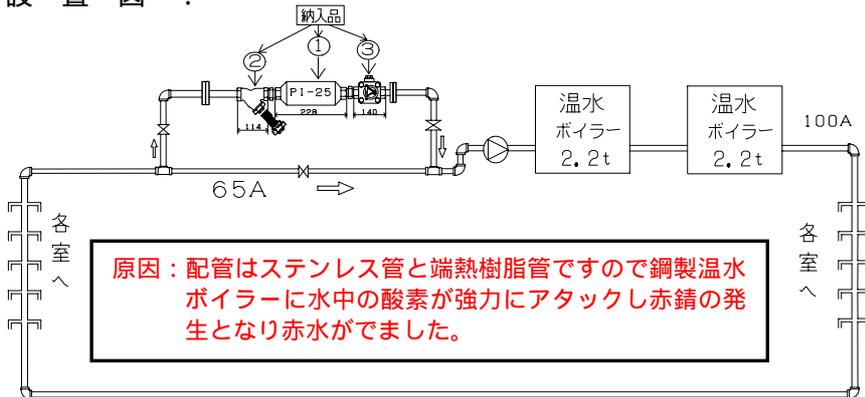


POLAR NEWS (38) ホテルの給湯赤水対策

設置場所：某ホテル(京都市内) [築後 3 年]
 設置日：平成 13 年 7 月中旬
 ポーラー型式：PI-25F (3 点セット)
 設置方式：給湯循環水系に一部バイパス方式にて設置
 設置図：



- ① ポーラー本体 (PI-25F) (25A)
- ② 磁気ストレーナー (25A)
- ③ 流量計 (25A)



流量計にて処理水量 60L/min 確認



ポーラー型式：PI - 25F(一式)

経過説明

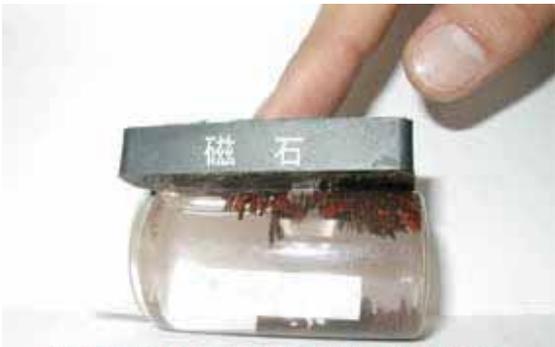
ホテル完成 3 年以内で客室の風呂の給湯蛇口より赤水が出るとの苦情があり、色々手は打ったが一向に解決しなかった。配管はステンレスと樹脂管であるにもかかわらず赤水が発生した。赤水原因は鋼製温水器内部の水中の溶存(DO)の異常な酸化反応による腐食であった。

ポーラー磁気式水処理装置 型式 PI-25F(3 点セット)を戻り管 65A に一部バイパス方式にて設置した。循環水量の一部(20%)程度処理した。

ポーラー取付日に赤水がひどく出たお客様よりクレームがあったが、翌日より 3.5 ヶ月後の今日まで赤水のクレームは一切ないのでポーラーの効果で赤水は止まっているものと判断して良いと思う。

設置 3.5 ヶ月後の 11 月初旬のボイラーメーカーの立会検査にてボイラー缶内の洗缶と防食効果を見て判断するという事になりました。その結果ボイラー内の赤錆が黒錆化しており赤水がとまった事を確認いたしました。(次頁参照)

ポラー効果確認比較写真

処理前 (平成 12 年 12 月 13 日)	処理後 (平成 13 年 11 月 1 日)
 <p>処理前はこの様に赤錆は缶内に多く発生しています。これではボイラーの腐食の進行を早めます。</p>	 <p>ポラー処理は前回洗浄後 7 ヶ月に設置されました。設置以前の腐食の進行があるため全体的に点食として発生しておりましたので開缶時はこの様でした。</p>
 <p><u>缶内の錆落しの洗浄後の様子</u> 一応錆は落ちましたが薄茶の地肌なので再び腐食の進行となります。</p>	
<p>設置後の黒錆(マグネタイト)形成の確認</p>  <p>磁石に鋭く吸着したのでマグネタイト(黒錆)と判定します。</p>	<p>缶内をジェット水にて洗浄したあとに現れた黒錆(マグネット)の防食皮膜。缶内の黒錆は鋭く磁石に吸着するので判定出来ました。</p> <p>効果確認： ポラーの強力な磁場処理した水により水中の赤錆がマグネタイト化(黒錆化)して缶内に均一、緻密に吸着して水中の酸素の攻撃を遮断した結果赤錆が止まったものと考えます。</p>